

戦車と私の関り

笹川和郎

ウクライナへ世界一最強のドイツ主力戦車（Main Buttle Tank, MBT）**レオパルド2**を提供することになった。

ミサイル時代とは言え、最後に地上戦を制するのは戦車である。より性能の良い戦車を持っている方が勝つ。沿岸戦争においては広い砂漠の戦争では米国の戦車がよりも遠くから正確に一発でソ連の戦車を射止めて、撃滅させた。



戦車隊にいた、司馬遼太郎曰く「戦車戦に於いては性能の良い戦車を沢山持っている方が勝つ。大和魂など関係ない」ゼレンスキー大統領もこのことを十分に知っているはずだ。

小生の戦車との関りは中学1年生かある。

Leopard2

終戦の年、配属将校（当時、中学には陸軍将校が教練を教えていた。教練が不合格ならば卒業できない）の教練の士官は、爆弾を抱えて戦車に肉弾攻撃する訓練を指導していた。「どうせ死ぬんだから、臆せずに突っ込め」と言われ、我々一年生は納得していた。

戦車を防ぐ武器を持たない日本軍にとって、米国の戦車は「絶対的兵器」であった。南方の戦線では日本軍は爆弾を抱えて戦車に肉弾攻撃を行ったが、米国戦車はジャングルの中で火炎放射器を噴射していて「熱くて戦車に近寄れなかった」とのこと。

戦争に勝利したソ連戦車 MBT である T34/85（T34 型 85mm 砲搭載）を初めて見たのは終戦後の大連の小学校の校庭、子供と女性の兵隊も駐屯していた。

1970～80 年代に超高層ビルとホテル建設の仕事で旧東独にいた時に、再度ソ連軍占領地区の戦車と出くわした。



ソ連の MBT T34/85

そのような理由から戦車に対する興味を持った。英国のボービントンの戦車博物館がある。ここにある世界各国の戦車を見るために、わざわざ英国に旅行したこともある。



ドイツ TIGER 重戦車

第二次大戦における最強の戦車にドイツの“Tiger 戦車” がある。砲身の長い 88mm 砲を備えて、厚い防御の鋼鉄で覆われている。

但し、速度は遅く、行動距離が短い。戦車の性能に必要な 3 要素である、火力・装甲・機動力のバランスが取れているのが MBT となるが、Tiger 戦車は機動力に欠けていた。

それと比較して、レオパルド 2 型は TIGER 戦車と同等の 60 トンの重量であるが、120mm 滑空砲を持ち、最大速度 72 km/時、車体が旋回しても砲を同じ方向に向ける機能を持っている。

このように MBT であるために、エンジン 1500 馬力 (Tiger は 700 馬力、T34 は 500 馬力) と滑空砲の採用である。ライフリング (施条) が無ければ砲が軽くなる。但し、爆弾には fin を付けて方向を維持させる必要がある。

以上です